研修部会「地域版活動強化方策を活用した取り組み－白岡市民児協－」

研修部会では平成29年の民生委員制度創設100周年の際に提案された「地域版 活動強化方策」の活用について検討を進めています。今回は、「定例会の活性化」を目的に「地域版 活動強化方策」を導入した白岡市民児協の取り組みを報告します。

Ⅰ 白岡市民児協の取り組み

白岡市民児協は4つの単位民児協から成り立っています。まず、全委員にアンケート調査を行いました。この調査では、自由に「良いところ」や「課題」「気になっている点」を書かせ、それに基づいて20項目の選択肢を設けました。記入方法について説明書きを詳細に記載して、回答者が迷わないよう工夫しました。アンケートの回答率は高く、詳細な情報を提供する委員もいれば、項目だけを選んで記入する委員もいました。

①ひとり暮らし高齢者 ②認知症高齢者 ③身体障がい者（手帳所持者に限らない） ④知的・精神・発達障がい（手帳所持者に限らない） ⑤生活保護受給世帯 ⑥外国籍住民 ⑦刑余者（刑務所等からの出所者）、逮捕歴のある人 ⑧児童虐待 ⑨不登校 ⑩ひとり親世帯 ⑪非行 ⑫災害被災地からの避難者 ⑬ゴミ屋敷 ⑭親の年金頼みで子が無職（いわゆる8050） ⑮近隣住民とトラブルが生じている世帯 ⑯住まいが不安定（立ち退き等） ⑰ひきこもり ⑱ヤングケアラー（18歳未満の介護者など） ⑲ダブルケア（育児と介護が同時進行） ⑳その他

《アンケートで工夫した点① 集計のため 20 項目の選択肢を作成》

地域の実情・課題シートの書き方

○民生委員・児童委員活動をしていて、日頃から気になっていることを書いてください。
○自分の担当区域だけでなく、周辺の地域のことについて書いてもかまいません。
○シートをもとにグループでまとめることになりますので、安心して書いてください。
○気になっていることがすぐに思いつかないときは、次のことに思い当たるか考えてみてください。
・こうしたほうがいいなと感じていること
・こういうことができたらいいなと感じていること
・これはおかしなことだと感じていること
・気にはなっているが、どうしたらいいのか思いつかず、もどかしいと感じていること
○気になっていることを書けばよく、その解決方法は書いても書かなくてもかまいません。
○自分だけでやることに限らず、他の委員や地域の人と一緒にやることを書いてもかまいません。
○他の委員に相談したいと思っていることを書いてもかまいません。
○今すぐできなくても、将来にわたってやりたいことを書いてもかまいません。
○プライバシーに配慮して、個人が特定されないように書いてください。
○項目番号の欄には、下の方にある20項目から当てはまると思われる番号を書いてください。
○当てはまると思われるなら、項目は何個でもかまいません。
○複数の項目番号を書いたときに、一番当てはまる番号がある場合は、その番号を丸で囲んでください。

《アンケートで工夫した点② 記入方法の説明書きを詳細に記載》

Ⅱ　アンケート調査から得られた結果

　委員の思いや悩み、地域の実情や課題が明らかになりました。例えば、新任委員からは、65歳以上の方の実態調査に対する不安が挙げられ、これに対する対策が定例会で検討されました。また、白岡地区において、新興住宅地域と農村地域で異なる課題が浮かび上がり、地域性を理解する重要性が示されました。アンケート内容や方法についても改善点が見つかり、調査の質を向上させ、再度調査を行いながら方策をまとめていく予定です。

Ⅲ　今後の取り組みとして、

　地域版　活動強化方策として、4地区ごとの情報を一つの冊子にまとめ、市内での情報共有を進めます。また、定例会の活性化を目指し、アンケート調査で明らかになった委員の意見や課題を活用して、より意義ある定例会を実現する方針です。

Ⅳ　まとめ

　地域版　活動強化方策は、委員同士が意見を共有し、活動方針を決定するための有力な手段です。地域に合わせた方法で取り入れ、委員同士が協力し、地域の実情や課題を共有することにより、より効果的な地域活動が実現されるでしょう。

〔質問1〕

　調査結果において関心の高かったことは何ですか？

〔回答1〕

　20項目の内「一人暮らし高齢者」が全体の25％となっており、主な内容で関心が高かったのは『単身高齢者』と『日中独居の高齢者』の孤立と情報収集の困難でした。

〔質問2〕

　定例会が活性化されていないと思われた点は何ですか？

〔回答2〕

　地区によって連絡事項だけで終えてしまう定例会があるため、アンケート調査により提出された課題等を取り上げ、委員が主体的に参加することで、「委員が悩みや困難を気軽に話せる場」「経験豊富な委員や役員にとっても成長する場」としていき、各単位民児協で活性化を目指します。

今後の展望

　民児協のメンバー同士の情報共有を通じて、仲間意識と継続意欲の向上を図るとともに、委員一人ひとりの参画を奨励し、個々の思いや考えを率直に表現し、状況を共有し、その内容について評価を尋ねるだけでなく、過程を重視する事が大切です。この理念に基づき、個々の思いを尊重する活動方針が形成され、定例会が活性化することを期待しています。